

熊本医療センター 化学療法レジメン登録票

BEV(5/D1) + FOLFIRI(2週毎)

療法

診療科	外科
がん種	大腸癌
実施区分	外来可
適応分類	進行・再発がん 術後補助療法 ・ 術前補助療法 ・ 局所療法 ・ その他

1コース期間	14 日間	最大コース数(規定があれば)	コース
--------	-------	----------------	-----

催吐リスク	中等度
-------	-----

★1コースの抗がん剤投与スケジュール

薬剤名	(略号)	投与量	催吐リスク	Day		
				1	...	14
ペバシズマブ	BEV	5 mg/kg	最小度	○		
イリノテカン	CPT-11	150 mg/m ²	中等度	○		
レボホリナート	I-LV	200 mg/m ²		○		
bolus 5-FU	5-FU	400 mg/m ²	軽度	○		
5-FU	5-FU	2500 mg/m ²	軽度	○		

★備考欄

- ・BEV: 初回は90分で投与。初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行っても良い。2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与とすることができる。
- ・CPT-11のコリン様症状の予防に前投薬としてd-クロルフェニラミン酸塩5mgを投与

★参考文献(添付文書・適正使用ガイド・ポケットガイド・書籍・文献・臨床試験プロトコル・その他)

エビデンスに基づいた癌化学療法ハンドブック2012 p.210

★備考欄

CPT-11: 投与予定日の白血球数が3,000/mm³未満または血小板数が10万/mm³未満の場合には、本剤の投与を中止または延期すること。

◆主な副作用とその対策(例:シスプラチン 嘔気、腎機能障害など)

- BEV 高血圧
尿蛋白

※対策は適正使用ガイド参照